

- ・この薬は、患者さんの証*にもとづいて使用されます。
- *証(しょう):患者の体質、体調、体力、抵抗力、症状のあらわれ方などを総合的に考慮した、どんな場合に用いたらよいかという個別治療の指針となる漢方独特の考え方。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬を使用することにより、間質性肺炎がおこることがあります。早期に適切な処置が行われないと、死亡などにつながるおそれがあります。間質性肺炎の初期症状である発熱、咳嗽(がいそう:せき)、呼吸困難などがあらわれた場合は使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。患者さんはこのことについて十分理解できるまで説明を受けてください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・インターフェロン製剤による治療を受けている人
 - ・肝硬変、肝がんの人
 - ・慢性肝炎で血小板数が少ない(10万/mm³以下)人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・著しく体力の衰えている人
 - ・慢性肝炎で血小板数が少ない(15万/mm³以下)人
- この薬には併用してはいけない薬[インターフェロン製剤(インターフェロン-α、インターフェロン-β)]や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人では、1日7.5gを2~3回に分けて、食前(食事の約30分前)または食間(食事の約2時間後)に飲みます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水又はぬるま湯で飲んでください。医師からの指示がある場合はそれに従ってください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時(過量使用時)の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・血小板数や血清カリウム値を測定するために血液検査が行われることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
間質性肺炎 <small>かんしつせいはいえん</small>	頭痛、息苦しい、発熱、から咳
偽アルドステロン症 <small>ぎアルドステロンしょう</small>	麻痺および痛み、頭痛、からだがだるい、手足のしびれ、筋肉の痛み、筋力の減退
ミオパチー	筋肉の痛み、筋力の低下、筋肉のこわばり
肝機能障害 <small>かんきのうしょうがい</small>	皮膚が黄色くなる、嘔吐(おうと)、白目が黄色くなる、尿の色が濃くなる、吐き気、食欲不振、かゆみ、からだがだるい
黄疸 <small>おうだん</small>	皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる、白目が黄色くなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、からだがだるい、筋肉の痛み
頭部	頭痛
眼	白目が黄色くなる
口や喉	から咳、嘔吐、吐き気
胸部	息苦しい、吐き気
腹部	食欲不振、吐き気
手・足	手足のしびれ
皮膚	皮膚が黄色くなる、かゆみ
筋肉	筋肉の痛み、筋力の減退、筋力の低下、筋肉のこわばり
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる
その他	麻痺および痛み

【この薬の形は？】

形状	顆粒
色	淡黄褐色
識別コード	ツムラ/9 

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	小柴胡湯エキス
添加物	ステアリン酸マグネシウム、乳糖水和物、 ショ糖脂肪酸エステル

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：株式会社ツムラ

(<http://www.tsumura.co.jp/>)

お客様相談窓口

電話：0120-329-930

受付時間：9:00～17:30（土、日、祝日を除く）